

学校教育目標及び令和3年度重点目標

【学校教育目標】

- ・自ら進んで学習する子ども(知)・思いやりを持ち助け合う子ども(徳)・めあてを持って体を鍛える子ども(体)

【令和3年度重点実践事項】

- ・学習改善を図るための評価の工夫 ・社会性の育成 ・持久走による基礎体力向上 ・海を通じた教育活動の推進



豊かな人間性
・認め合い、思いやる心 ・感動する心

健康・体力
・運動に親しむ ・体力向上 ・生活習慣

資質・能力の育成

第1 何ができるようになるのか (学校教育の基本)	第3 何が身に付いたのか (学習評価を通じた学習指導の改善)
<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにする知識・技能を習得することができる。 ・困難に対して、他者と協力しながら問題解決を図る。 ・いつもとは違う状況になっても、柔軟に対応できる。 ・明確・簡潔に、又は、豊かに表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことや体験したことが、学校生活や日常生活のどこに生かしたらよいか考えている。 ・学習の振り返りから、自分の考えを広げたり深めたりし、思考の再構成をしている。 ・学習によって身に付けた知識・技能から、新たな気付きや課題を発見し、解決しようとしている。

第4 子供の発達をどのように支援するか
<ul style="list-style-type: none"> ・教育ファシリテーションを取り入れ、社会性の育成を図る。 ・意思決定、合意形成の場面を意図的に設定する。 ・活動のねらいを明確にする。 ・定期的に行う教育相談の充実を図り、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な支援を行う。 ・年間を見通して生徒の心の変化を見通し、情報を共有しながら予防的生徒指導を心がける。 ・9年間を見通したキャリア教育の充実を図る。

第2 何を学ぶか(教育課程の編成)
<ul style="list-style-type: none"> ・生きてはたらく基礎学力 ・情報を比較、関連付けて、整理する力 ・聴いて、つなげて再構成する考え方 ・自分の考えの変容や成長を把握する力 ・言語能力・情報活用能力・問題解決能力 ・「海」を中核とした持続可能な社会の実現 ・タイムマネジメント能力

第3 どのように学ぶか(教育課程の実施)
<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒が相互に学びを評価する ・粟島浦小中「学習のきまり」の徹底 ・「傾聴スキル」の徹底 ・単元テストの実施 ・各教科の「見方・考え方」を働かせ、総合的な学習の時間の学習内容と関連付けて学ぶ ・「MANAVITIME」による家庭学習の習慣付け



第5 実施するために何が必要か (指導体制の充実、家庭、地域との連携・協議)
<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実(各担当によるミニ研修) ・迅速かつ適切な初期対応及びチーム対応(生徒指導主事を中心とした組織) ・いじめ・不登校を生まない学年・学級経営(教育ファシリテーションを取り入れたスキルトレーニング) ・SC・外部機関(SSW)との連携 ・家庭・地域との情報共有及び連携・協働 ・学校運営連絡協議会との連携・協働 ・コミュニティスクール